

第五編 官規

第一章 官制、職制

第一節 官制

●宮内省官制

皇宮内省官制改正ノ件ヲ豫可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

大正十年十月六日

宮内大臣 子爵牧野伸顯

内閣總理大臣 原 敬

内務大臣 床次竹二郎

改正

皇宮令第七號

宮内省官制

第一條 宮内大臣ハ親任トス皇宮一切ノ事務ニ付補助ノ責ニ任ス

第五編 官規 第一章 官制、職制

官法第一八號

第二條 宮内大臣ハ所屬職員ヲ監督シ兼テ皇族及朝鮮貴族ヲ監督ス

第三條 宮内大臣ハ皇宮令ノ制定改正又ハ廢止ヲ要スルモノアルトキハ奏請具ヘテ上奏スヘシ其ノ國務大臣ノ職務ニ關連スルモノニ付テハ内閣總理大臣又ハ内閣總理大臣及主任ノ國務大臣ト俱ニ上奏スヘシ

第四條 宮内大臣ハ皇宮令ノ施行其ノ他主管ノ事務ニ關シ必要ノ規程ヲ定ムルコトヲ得其ノ國務大臣ノ職務ニ關連スルモノニ付テハ内閣總理大臣又ハ内閣總理大臣及主任ノ國務大臣ト俱ニ協定ヲ經ヘシ

第五條 宮内大臣ハ主管ノ事務ニ關シ省令ヲ發スルコトヲ得

第六條 宮内大臣ハ主管ノ事務ニ關シ警備總監及地方長官ニ指令又ハ訓令ヲ下スコトヲ得

第七條 宮内大臣ハ勅旨ヲ奉シ褒賞賜與及救済ノ事ヲ施行ス

第八條 宮内大臣ハ宮内海任官及勅任特選奏任特選宮内職員ノ進退ハ之ヲ上奏シ宮内列任官及列任特選宮内職員ノ進退ハ之ヲ奉行ス

第九條 宮内大臣ハ宮内職員皇族及朝鮮貴族ノ銜位ヲ上奏シ其ノ敕勅ハ内閣總理大臣ヲ經テ上奏ス

第十條 宮内省ニ大臣官房ヲ置ク

一 機密ニ屬スル事項

二 職員ノ進退身分ニ關スル事項

三 恩給ニ關スル事項

四 大臣ノ官印及官印ノ管守ニ關スル事項

五 文書ノ授受發給ニ關スル事項

六 統計及官報報告ニ關スル事項

第五編 官制 第一章 官制、職制

七 庶務ノ調査及審議立案ニ關スル事項

八 各部局ノ事務ノ連絡調整ニ關スル事項

九 前各條ノ外他ノ主管ニ屬セサル事項但シ第二十二條ノ二第七號ニ據タル事項ヲ除ク

第十一條 官内省ニ左ノ部局ヲ置ク

侍從職

式部職

宗秩寮

諸寮寮

圖書寮

侍從寮

大膳寮

内膳寮

内匠寮

主馬寮

主馬局

警衛局

第十二條 侍從職ニ於テハ側近ノ事務ヲ掌ル

第十三條 式部職ニ於テハ典式文牒圖書貯藏及儀典ノ事務ヲ掌ル

第十四條 式部職ニ屬部ヲ置ク

樂部ニ於テハ樂事ヲ掌ル

第十五條 宗秩寮ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 皇族ニ關スル事項

二 皇族會議ニ關スル事項

三 王族及公族ニ關スル事項

四 爵位ニ關スル事項

五 華族ニ關スル事項

六 朝鮮貴族ニ關スル事項

七 有位者ニ關スル事項

八 學藝院及女子學藝院ニ關スル事項

第十六條 諸寮寮ニ於テハ該寮ノ管理及調査ニ關スル事務ヲ掌ル

第十七條 圖書寮ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 皇統譜ニ關スル事項

二 陵寢及墓所ニ關スル事項

三 皇族典範勅諭勅書皇詔令其ノ他重要ナル文書ノ原本尙藏ニ關スル事項

四 世傳御料遺儀ニ關スル事項

五 天皇皇族王族及公族實錄ノ編修ニ關スル事項

六 王族譜公族譜及王公族ノ墓所ニ關スル事項

七 圖書ノ保管出納ニ關スル事項

八 公文書類ノ編纂及保管ニ關スル事項

第十八條 侍從寮ニ於テハ該寮ノ管理及調査ニ關スル事務ヲ掌ル

第十九條 大膳寮ニ於テハ供御供膳及儀典ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十條 内膳寮ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 御食會計及通會會計ニ關スル事項

二 特別會計ノ豫算決算ニ關スル事項

- 三 帝室經濟會議ニ關スル事項
- 四 現金ノ出納保管ニ關スル事項
- 五 用度ニ關スル事項
- 六 前各條ノ外法令ノ規定ニ依リ特ニ主管ニ屬セシメラル會計ニ關スル事項

第二十一條 内務省ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 官殿其ノ他建築物ノ保管看守ニ關スル事項
- 二 建築及土木ニ關スル事項
- 三 庭苑及園藝ニ關スル事項
- 四 電氣瓦斯及水道ニ關スル事項

第二十二條 主馬寮ニ於テハ馬車馬匹自動車牧場及輪船ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十三條 二 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 行幸將ニ關スル事項
- 二 褒賞及賜與ニ關スル事項
- 三 救済ニ關スル事項
- 四 通關ニ關スル事項
- 五 情報及寫眞ニ關スル事項
- 六 御物ノ管理ニ關スル事項
- 七 前各條ノ外勅旨承宣ニ關スル事項ニシテ大臣官房及他部局ノ主管ニ屬セラルモノ

第二十四條 三 警備局ニ於テハ警備消防衛生及防衛ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十五條 官制 第一章 官制、職制

官法第一八條

皇宮警備部ニ於テハ警備消防及衛生ニ關スル事務ヲ掌ル
 第二十二條ノ五 宮内大臣ハ必要ニ從ヒ大臣官房及各部局ノ事務ヲ分掌セシムル爲メ勅令ヲ發シ地方事務所ヲ置タコトヲ得
 第二十三條 宮内省ニ左ノ職員ヲ置テ

次官

局長

參事官

副官

書記官

事務官

技師

技手

第二十四條 次官ハ勅任トス大臣ヲ輔ケ事務ヲ整理シ大臣官房及各部局ノ事務ヲ監督ス

第二十五條 頭ハ衆議院ヲ除ク各案ニ、局長ハ各局ニ之ヲ置テ

頭及局長ハ勅任トス案又ハ局ノ事務ヲ掌理シ所部職員ヲ監督ス

第二十六條 參事官ハ一人ヲ勅任專任トシ二人ヲ兼任トス庶幾ノ調査及審議立案ヲ掌ル但シ特ニ大臣官房ノ他ノ事務ヲ掌ラシムルコトヲ得

第二十七條 副官ハ專任一人兼任トス大臣ニ專屬シテ機密ニ關スル事務ヲ掌ル但シ特ニ大臣官房ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十八條 書記官ハ專任四人兼任トス大臣官房及各部局ニ分屬シテ事

第五編 官制 第一章 官制、職制

第三十九條

事務官ハ專任二十七人、内三人ヲ勅任ト爲スコトヲ得、大臣官房各部、地方事務所及官廳ヲ屬ヘリタル、其ノ分屬シテ事務ヲ分掌ス

第三十條

第三十一條 局ハ勅任トス、大臣官房各部、地方事務所及官廳ヲ屬ヘリタル、其ノ分屬シテ事務ヲ分掌ス

第三十二條 技師ハ專任十三人、内一人ヲ勅任ト爲スコトヲ得、技師ノ事務ヲ分掌ス

第三十三條

第三十四條 技師ハ勅任トス、技師ニ從事ス

第三十五條

第三十六條 勅任

第三十七條

侍從長ハ左ノ職員ヲ指テ

侍從

侍從次長

内舍人

侍從長ハ勅任又ハ勅任トス、常侍奉仕シ便宜ヲ奏シ旨ヲ宣ス

侍從次長ハ勅任又ハ勅任トス、所部職員ヲ監督ス

侍從次長ハ二人、勅任トス、内一人ハ專任トシ、一人ハ他ノ宮内高等官ヨリ兼任ス、侍從長ヲ輔ケ侍從長事務アルトキハ專任ノ者ヲ先ニシ、其ノ職務ヲ代理ス

四

侍從ハ專任十人、内二人ヲ勅任ト爲スコトヲ得、側近ノ事務ヲ分掌ス

内舍人ハ勅任トス、内舍人ノ職務ニ從事ス

第三十八條 式部職ハ左ノ職員ヲ指テ

式部長官

式部次長

式部官

合人

主理官

儀禮監督官

儀禮

式部長官ハ勅任又ハ勅任トス、式部ニ奉仕シ職務ヲ掌理シ所部職員ヲ監督ス

式部次長ハ勅任トス、式部長官ヲ輔ケ式部長官事務アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

式部官ハ專任十八人、勅任又ハ兼任トス、内勅任ハ三人ヲ超ムルコトヲ得

式部官ハ之ヲ名譽官ト爲スコトヲ得

式部官ハ勅任トス、他ノ宮内列任官ヨリ兼任ス、式部ニ關スル職務ニ從事ス

主理官ハ專任名譽官トス、他ノ宮内高等官ヨリ兼任ス、許儀ノ事務ヲ掌ル

儀禮監督官ハ勅任トス、儀禮ノ監督ニ從事ス

儀禮ハ勅任トス、儀禮ノ監督ニ從事ス

第三十九條 制除

第四十條 樂部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長

樂長

樂師

部長ハ兼任トス他ノ宮内高等官ヨリ兼任ス事務ヲ掌理シ所部職員ヲ監督ス

樂長ハ兼任トス樂部ニ從事ス

樂師ハ兼任トス樂部ニ從事ス

第四十一條 宗族寮ニ總裁ヲ置ク

總裁ハ親王又ハ勅任トス寮務ヲ統轄シ皇族王族及公族ニ附屬スル職員ヲ監督ス

第四十二條 踏殿寮ニ左ノ職員ヲ置ク

考殿官

考殿官補

考殿監

考殿守長

考殿官ハ兼任トス考殿ノ事務ヲ掌ル

考殿官補ハ兼任トス考殿ノ事務ニ從事ス

考殿監ハ兼任トス考殿ノ事務ヲ分掌ス

考殿守長ハ兼任トス考殿ノ事務ニ從事ス

第四十三條 圖書寮ニ左ノ職員ヲ置ク

圖書官

第五編 官制 第一章 官制、職制

官法第一八編

圖書官補

圖書官ハ兼任トス圖書ノ事務ヲ分掌ス

圖書官補ハ兼任トス圖書ニ從事ス

第四十四條 侍醫寮ニ左ノ職員ヲ置ク

侍醫

醫員

藥劑官

藥劑員

侍醫ハ十七人勅任又ハ兼任トス内勅任ハ五人ヲ超スルコトヲ得ス診候及治療ノ事務ヲ分掌ス

侍醫頭ヨリ兼任スル侍醫ハ之ヲ定員外ト爲スコトヲ得

醫員ハ兼任トス醫務ニ從事ス

藥劑官ハ兼任トス藥品ノ製造試驗及調劑ノ事務ヲ分掌ス

藥劑員ハ兼任トス藥品ノ製造試驗及調劑ニ從事ス

第四十五條 大膳寮ニ左ノ職員ヲ置ク

主膳監

主膳

主膳監ハ兼任トス膳務ノ事務ヲ掌ル

主膳ハ兼任トス膳務ニ從事ス

第四十六條 主馬寮ニ主馬監一人ヲ置ク兼任トス宮内技師ヨリ兼任ス車馬器具ノ保守及馬匹ノ飼養調習ノ事務ヲ掌ル

第四十六條ノ二 皇宮警察部ニ左ノ職員ヲ置ク

皇宮警察部長

第五編 官制 第一章 官制 職制

皇宮警備

皇宮警備部長ハ奏任トス事務ヲ掌理シ所部職員ヲ指揮監督ス

皇宮警備ハ專任六人奏任トス警備消防及衛生ノ事ヲ分掌ス

皇宮警備ハ列任トス警備消防及衛生ニ從事ス

第四十七條 宮内省ニ宮中顧問官二十五人ヲ置テ勅任名譽官トス大臣ノ

諮詢ニ應ジ又ハ臨時大臣ノ命ヲ承ケ事務ヲ輔テ

第四十八條 宮内列任官ノ定員ハ宮内大臣勅裁ヲ經テ之ヲ定ム

第四十九條 大臣官房各部局及地方事務所ノ分掌ハ宮内大臣之ヲ定ム

第五十條 宮内大臣ハ主管ノ事務ニ關シ勅裁ヲ經テ顧問委員又ハ評議員

ヲ置テコトヲ得

第五十一條 宮内大臣ハ須要ニ從ヒ勅任特選奏任待遇及列任待遇ノ職ヲ

置テ其ノ職制ヲ定ムルコトヲ得但シ奏任待遇以上ニ係ル者ノ職制ハ勅

裁ヲ經ヘシ

第五十二條 宮内大臣ハ事故アルトキハ臨時其ノ職務ヲ次官ニ代理セシ

ムルコトヲ得但シ皇族典範又ハ皇族令ニ依リ公告ヲ爲シ公武令ニ依リ

副署ヲ爲シ省令ヲ發シ及重要ノ事務ヲ裁奪スルハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條 宮内大臣ハ部下ノ官吏ニ其ノ職務ノ一部ヲ委任スルコトヲ

得

附 則

第五十四條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年皇族令第十四號附則

本令ハ大正十五年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三年皇族令第八號附則

本令ハ昭和四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和五年皇族令第一號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ宮内技師ノ職ニ在ル者ハ其ノ定員ノ改正ニ拘ラス在任

ス

昭和十一年皇族令第七號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ圖書寮編輯官ノ職ニ在ル者ハ其ノ定員ノ改正ニ拘ラス

當分ノ内在任セシムルコトヲ得

昭和十四年皇族令第三號附則

本令ハ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

宮内省京都地方事務所設置ノ件

宮内省令第六號
宮内省京都地方事務所設置ノ件勅裁ヲ經テ左ノ通定ム

昭和十一年十一月二十日

宮内大臣 松 平 恒 雄

第一條 京都ニ地方事務所ヲ置テ別ニ定ムル所ニ依リ近畿地方ニ於ケル

大臣官房及各部局ノ事務ヲ分掌セシム

第二條 事務所ニ所長ヲ置テ宮内事務官ヲ以テ之ニ充テ